

根木内歴史公園「虫ハカセになろう！」観察記録  
 2016年7月29日(金) 天気 晴れ AM 9:30~12:00  
 観察指導 柄澤 保彦先生 班担当 渋谷 高橋 田中  
 受付、班の補助 根っこの会メンバー担当

## 参考資料

百科事典・マイペディア・野外観察図鑑・昆虫(旺文社)  
 虫の写真図鑑(インターネット)日本のクモ(文一総合出版)  
 HOIKUSHA昆虫図案・昆虫(学研)・日本大百科全書

記録者 高橋(根っこの会)			捕獲した昆虫○、いることを確認した昆虫◇を記録				
大まかな分類	科名	種名	07~13	2014	2015	2016	幼虫の食草
チョウの仲間	アゲハチョウ科	ナミアゲハ	○	○		○	
		キアゲハ	○	○	○	◇	セリ・人参・パセリ・三つ葉の葉
		アオスジアゲハ	○	○		○	クスノキの葉・シロダモの葉
		ナガサキアゲハ	○	○		◇	ミカン・ダイダイ・カラタチの葉
		クロアゲハ	○	○		◇	ミカン・カラタチの葉
		ジャコウアゲハ	○	○	○♀♂	○	ウマノスズクサ
		カラスアゲハ				○	コクサギ・サンショウ
		モンシロチョウ	○	○	○	○	キャベツ・アブラナ
		スジグロシロチョウ	○	○			イヌガラシ・アブラナ科
		モンキチョウ				○	ウマゴヤシ・シロツメクサ
		キタキチョウ	○	×	○	○	マメ科植物
	タテハチョウ科	キタテハ	○	×			カナムグラ
		ツマグロヒョウモン	○	○	○	○	パンジーなどのスマレ類
		ヒカゲチョウ	○	×			竹・ササ類・ススキ
		アカタテハ	○	×			カラムシ・クサマオ・ヤブマオ
		ヒメアカタテハ	○	×	○		ゴボウの葉
		コムラサキ	○	×			ヤナギ
		アカボシゴマダラ	幼虫	○		◇	エノキ
		ゴマダラチョウ	○	×			エノキ
		ミスジチョウ	○	×			イタヤカエデ・ヤマモミジ
		コムスジ	○	○	○	○	ハギ・アズキの葉
	シジミチョウ科	ムラサキシジミ	○	×			シイ・カシ類各種
		ウラギンシジミ	○	○	○		フジ・クズなどの花の蕾
		オオミドリシジミ	○	×			コナラ・クヌギ・ミズナラ・カシワ
		ベニシジミ	○	○	○	○	スイバ・ギシギシ
		ツバメシジミ	○	×			シロツメクサ・カラスノエンドウなどのマメ科
		ルリシジミ	○	○			フジ・クララ・ハギなどの花・果実
		ヤマトシジミ	○	○	○	○	カタバミ
	ジャノメチョウ科	ヒメジャノメ	○	×		◇	ススキ・ササの葉
	スズメガ科	オオスカバシ	○	×			クチナシの葉
	セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	○	×		◇	ヤマノイモ
		コチャバネセセリ	○	×			クマザサなどの竹
		チャバネセセリ				○	イネ・ススキ
		キマダラセセリ	○	×			ススキなどのイネ科の植物、ミヤコザサ
ガの仲間	ミノガ科	ミノムシ	○	○			ブナ、ニレ、バラ多くの樹木、灌木

大まかな分類	科名	種名	07~13	2014	2015	2016	幼虫の食草
	セミヤドリガ科	セミヤドリガ	○	○			ヒグラシ
	スズメガ科	キイロスズメガの幼虫	○	×			ヤモノイモ
	シャクガ科	シャクトリムシ	○	×			樹木、種によって植樹が異なる
	ヒトリガ科	ヨツボシホソバ	○	×			コケ類
		カノコガ	○	×			
	ヤガ科	ヤガの種	○	×			種によって異なる
	イラガ科	イラガ	○	○			カキ、ナシ、リンゴ、ウメなどの葉
		ヒロヘリアオイラガ				○	
	ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ			○		クズなどのマメの仲間
	ヤママユガ科	オオミズアオ				○	モミジ
	ドクガ科	マイマイガ	幼虫	卵			ヨコズナサシガメのえさ
甲虫の仲間	カメムシ科	カメムシ			○		
		ホオズキカメムシ				○	ホオズキ
	アワフキムシ科	クロスジアワフキ				◇	本州、四国に分布、7月から11月。植物の汁、幼虫も同様
	シテムシ科	オオヒラタシテムシ	○	○			生き物の死骸
		オオヒラタシテムシの幼虫	○	×			
	クワガタムシ科	コクワガタ	○	×		◇	幼虫はクヌギの朽木
		ノギリクワガタ	○	○			
		外来種	○	×			
	コガネムシ科	カブトムシ	○	×			飼っているものをはなした
		アオウガネ	○	○	○		腐葉土・木くず
		シロテンハナムグリ	○	×		◇	サクラ類
		ドウガネブイブイ	○	○			
		コフキコガネ	○	○			幼虫は土の中の根・成虫は広葉樹の葉
		マメコガネ	○	○		○	幼虫は土の中の根・成虫は樹液
		スジコガネ	○	○			幼虫は土の中の植物根、成虫は針葉樹の葉
		クロカナブン	×	○		○	成虫はクヌギなどの樹液
		コガネムシ	○	×			広葉樹の葉
		カナブン				○	成虫はクヌギなどの樹液・カキなどの熟した果実
		オオコフキコガネ				○	
	タマムシ科	チビタマムシ	○	×			エノキ・ケヤキ・サクラなどの枯木
		タマムシ			○		サクラなどの弱った木
		ヤマトタマムシ				◇	成虫はエノキ・ケヤキ・桜類の葉を食べる
	テントウムシ科	ナナホシテントウ	○	×			植物につくアブラムシ
		ヒメカメノコテントウ	○	×			々
	オサムシ科	ゴミムシ	○	×			樹にはえるキノコ
		オオアトボシアオゴミムシ	○	×			他の昆虫
	ゾウムシ科	ゾウムシ	○	×			クヌギ・ナラ・ウルシの新芽
		コフキゾウムシ	○	×		○	
		ハイイロチョッキリ	○	×			ドングリを食べる
		クリシギゾウムシ	○	×			成虫はエゴノキの花の蜜

大まかな分類	科名	種名	07~13	2014	2015	2016	幼虫の食草
	ハンミョウ科	ハンミョウ	○	×		○	
		トウキョウヒメハンミョウ	○	×			
		マメハンミョウ			○		
		ヒメハンミョウ	○	×			
	ハムシ科	クリウリハムシ			○		
	ナガクチキムシ科	ナガクチキムシ				◇	世界各地に分布、湿地帯に多い、1000以上の種類、日本では70種が記録されている
カブトムシの仲間	カミキリムシ科	カミキリムシの仲間	○	×			各々に食草が違うが木や草の幹で育つ
		ノコギリカミキリ	×	○			
		ヨツスジハナカミキリ	○	×			赤松などの朽木
		ゴマダラカミキリ			○		
	ナゴマフカミキリ科	ナゴマフカミキリ				○	立ちがれ木や伐採木、シイタケのほだぎ、フジ・イチジク
	ハンミョウ科	ハンミョウ			○		他の虫
	コガネムシ科	マメコガネ			○		ヤナギ
		ゴマダラカミキリ	○	×			幼虫は生木の中、成虫はクワ、イチジクの樹皮・葉
		アオドウガネ			○		幼虫は木の根
	コメツキムシ科	コメツキムシ	○	×			幼虫はカマキリ・バッタに寄生する
	ハネカクシ科	オオヒラタシデムシ			○	○	動物の死体
	ハムシ科	クロウリハムシ	○	×			カラスウリの根
		ジンガサハムシ	○	×			ヒルガオの葉
		ヤナギルリハムシ	○	×			
		ウリハムシ			○		ウリ類の葉 幼虫は根
ハチの仲間	ベッコウバチ科	ベッコウバチ	○				クモ類を狩って産卵し幼虫のえさにする
		オオモンクロベッコウ	○	×			クモ類
		オオシロフベッコウ				○	オニグモ、ナゴコガネグモなど大型のクモを捕らえ、麻酔液を注入して幼虫の餌にする
	アナバチ科	ジガバチ	○	×			昆虫、クモ類を狩って幼虫のえさにする
	スズメバチ科	オオスズメバチ	○	○			成虫は樹液・昆虫をおそって食べる
		キイロスズメバチ	○	×			々
		コアシナガバチ	×	○		○	々
		セグロアシナガバチ	○	×			青虫などを狩る
		ヒメハラナガツチバチ			○		
		キアシナガバチ	○	×		◇	々
		ムモンホソアシナガバチ			○		
		フタモンアシナガバチ	○	×			々
		コガタスズメバチ				○	働き蜂は他の小さな生物を捕らえてえ幼虫の食物とする
	ハナバチ科	トラマルハナバチ	○	×			
	ミツバチ科	クマバチ	○	○			蜜
		キムネクマバチ				○	
		日本蜜蜂	絶滅				
	?	オオシロツクモバチ			○		
	クモバチ科	オオモンクロクモバチ				○	ハシリグモ類を捕獲して幼虫の食物とする

大まかな分類	科名	種名	07~13	2014	2015	2016	幼虫の食草
トンボの仲間	オニヤンマ科	オニヤンマ	○	○		◇	幼虫はミジンコ・水中の小さい生き物たち
	トンボ科	オオシオカラトンボ	○	○			
		コシアキトンボ	○	○			
		シオカラトンボ	○	○	○♂♀	○	
		ウスバキトンボ	○	○			
		マイコアカネ	○	×	○	◇	
		ナツアカネ	○	○	○	○	
		チョウトンボ	○	×			
		コノシメトンボ	○	×			
		ショウジョウトンボ	○	○		○	身体は赤いがシオカラトンボの仲間
		ハグロトンボ	○	×		○	緩い流れのあるところにみかける
		アジアイトトンボ	○	×			
		ノシメトンボ	○	○	○	○	
		アキアカネ			○		
サナエトンボ科	ウチワヤンマ			○			
セミの仲間	セミ科	アブラゼミ	○	○	○	○	樹液をすう
		ミンミンゼミ	○	○	○	◇	
		ヒグラシ	○	○	○	◇	
		ニイニイゼミ	○	×		○	
		クマゼミ	○	×		◇	鳴き声でいることの確認
		ツクツクボウシ	○	×	○		
ヨコバイの仲間	ヨコバイ科	ツマグロヨコバイ	○	×			成虫は多種の植物の汁を吸う
	アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	○	○	○	○	ミカン類、栗
ハゴロモの仲間	ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ	○	○		○	クズ、ヤマノイモ、ウツギ、ミカンの茎から汁
		アミガサハゴロモ	○	×			
カメムシの仲間	ナガカメムシ科	ウスイロヒゲナガカメムシ	○	×			マメ科、キク科、稲の穂
	カメムシ科	クサギカメムシ	○	×		○	林のクワ、クサギにつく、モモ、ウメ等にもつく
		ノコギリカメムシ	○	×			
		ナガメ	○	×	○		アブラナの仲間
		ブチヒゲカメムシ			○		
		ヨコズナサシガメ	○	×			昆虫の成虫の体液やイモムシの体液をすう
		ウズラカメムシ	×	○		○	ススキ・エノコログサ・イネ科の植物
		ゲンバイの仲間				○	
ホソヘリカメムシ科	ホソヘリカメムシ	○	×				
ツノカメムシ科	エサキモンツキノカメムシ	○	×				
ヘリカメムシ科	ホオズキカメムシ	○	×			ホオズキやヒルガオ科の植物	
オオホシカメムシ科	オオホシカメムシ	×	○		○	アカメガシワ	
バッタの仲間	バッタ科	ショウリヨウバッタ	○	○	○	○	草類
		クルマバッタ	○	×			草類
		クルマバッタモドキ	○	○			
		トノサマバッタ	○	×	○		イネ科

大まかな分類	科名	種名	07~13	2014	2015	2016	幼虫の食草
		ヒナバタ	○	×			草類
		オンブバタ	○	○	○	○	キク科の草を好む
	ヒシバタ科	ハネナガヒシバタ	○	×			(水辺に多い)
		ハラヒシバタ			○	○	
		ヒシバタ	○	○		○	
		トビヒシバタ	○	×			
	イナゴ科	ツチイナゴ	○	○	○	○	クズの葉 (成虫越冬)
		コバネイナゴ	○	×	○	○	
		イナゴ	○	○	○		
	キリギリス科	クサキリ	○	×			
		クビキリギリス	幼	×		○	
		ヒメギス	○	○			植物の葉や昆虫
		ウマオイ	○	×			他の昆虫
	カマキリ科	ハラビロカマキリ	○	×	○	○	々
		コカマキリ	○	×	○	○	々
		チョウセンカマキリ	○	幼	○	○	々
		オオカマキリ	○	○	○	○	あらゆる昆虫、カエル、トカゲ
	ツユムシ科	ツユムシ	○	×			草植
		クビキリギリス	○	×			草植
	コオロギ科	コオロギ	○	幼			水分の多い植物や果実
		カネタタキ	○	幼			
		エンマコオロギ	○	×			
	ナナフシ科	ナナフシモドキ	○	○		◇	
アブの仲間	ムシヒキアブ科	アオメアブ	○	×	○	○	
		シオヤアブ	○	×			
	?	クロハネシリアブ			○		
	ハナアブ科	オオハナアブ	○	×			水中の落ち葉
カゲロウの仲間	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	○	×		◇	巣に落ち込んだアリ、小昆虫の体液
		アリジゴク(カゲロウの幼虫)	○	×	○		
ハサミムシの仲間	ハサミムシ科	ハサミムシ	○	×			巣に落ち込んだアリ、小昆虫の体液
ダンゴムシの仲間	オカダンゴムシ科	ダンゴムシ	○	×			腐った落ち葉や植物、新聞紙、ダンボール、人間の食べ物のカス、時々コンクリート
		マルガタダンゴムシ	○	×			
クモの仲間	サラグモ科	チビアカサラグモ	○	×			巣に落ち込んだアリ、小昆虫の体液
	ジョロウグモ科	ジョロウグモ	○	×	○		昆虫
	アシナガクモ科	オオシロカネグモ	○	×			々
		アシナガクモ	○	×			々
	コガネグモ科	コガネグモ	○	×			々
		ナガコガネグモ	○	×	○	○	々
		ワキグロサツマノミダマシ	○	○			々
		ギンメッキゴミグモ	○	×			々
		ゴミグモ	○	○			々

大まかな分類	科名	種名	07~13	2014	2015	2016	幼虫の食草
		コガネグモダマシ	×	×			々
		シロオビノフンダマシ	○	×			
	ヒメグモ科	オオヒメグモ	○	×	○		昆虫
	キシダクモ科	イオウイロハシリグモ	○	×	○	○	々
	カニグモ科	ハナグモ	○	×			々
		カニグモの仲間			○		
	他に見つけたもの						
昆虫以外	オナジマイマイ科	ミスジマイマイ	○	×			
カタツムリの仲間		ヒダリマキマイマイ	×	○			
		ウシガエルのオタマジャクシ	○	×			
		ウシガエル				◇	鳴き声で確認
他の生き物		ニホンアマガエル	○	○			
		ニホンアカガエル	○	○	○	○	
		アズマヒキガエル	○	×			
		アメンボ	○	×			
		カダヤシ	○	○	◇	◇	外来種 水鳥のえさになっている。
		アメリカザリガニ	○	○	○	◇	養殖用のウシガエルの餌として日本に入ってくる
		イモムシ	○	×			
		ニホンカナヘビ	○	○	○		
		ヒトスジシマカ	○	○	○	○	人の血をメスは吸う
		カイガラムシ	○	×			足があるのを発見
		ヨトウムシ				○	
		猛禽	○	×			
		キジバト			○		
		スズメ			○		

「虫博士になろう」は今年2016年で10回目、10年になります。根木内歴史公園の整備にあたって、完璧に整備された公園でなく、緑に囲まれて生き物と共存できる公園になればという願いを込めて、全て虫としか認識しなかった私でしたが食草を調べたりしながら、記録を続けてきました。命を繋げていく生き物の姿が浮かび上がってきます。今年も多くの子供たちが参加してくれました。昨年はショウリョウバッタが多かったのですが、今年はオオカマキリが多く、捕まえると「オオカマキリは別の虫かごに入れないと」といってオオカマキリの虫かごを探していました。来年もまた虫網を思う存分振り回しましょう。高橋